



# A 試合会場レポート

試合番号 203

開催日 2017/01/08

第69回全日本バレーボール高等学校選手権大会男子 会場：東京体育館

観客数： 10,000	開始時間： 11:30	終了時間： 13:22	試合時間： 01:52	主審： 伊藤 薫	副審： 仲 博史
-------------	-------------	-------------	-------------	----------	----------

## 駿台学園高等学校

監督：梅川 大介  
コーチ：鈴木 大輔

通算： - 勝 - 敗  
ポイント： -

3	20	第1セット 【 00:25 】	25	1
	25	第2セット 【 00:29 】	22	
	25	第3セット 【 00:27 】	22	
	25	第4セット 【 00:22 】	20	
		第5セット 【        】		

ポイント                      【】内はセット時間                      ポイント  
-    ()内は交代選手    -

## 東亜学園高等学校

監督：佐藤 俊博  
コーチ：竹内 卓郎

通算： - 勝 - 敗  
ポイント： -

<監督コメント>	

20	坂下	村山	第1セット	小田島	竹沢	25
	( )	( )		( )	( 中村 )	
	伊藤	藤原		上林	神戸	
( )	( )	( )	( )	( )		
本澤	吉田	内藤	中道	( )	( )	
( 望月 )	( )	( )	( )	( )	( )	
リベロ： 土岐		リベロ： 大吉				
25	坂下	伊藤	第2セット	上林	小田島	22
	( 小出 )	( )		( )	( 中村 )	
	村山	藤原		内藤	竹沢	
( )	( )	( )	( 栗田 )	( )	( )	
本澤	吉田	中道	神戸	( )	( )	
( )	( )	( )	( )	( )	( )	
リベロ： 土岐		リベロ： 大吉				
25	坂下	伊藤	第3セット	小田島	竹沢	22
	( )	( )		( )	( )	
	村山	藤原		上林	神戸	
( )	( )	( )	( )	( )	( )	
本澤	吉田	内藤	中道	( )	( )	
( )	( )	( )	( )	( )	( )	
リベロ： 土岐		リベロ： 大吉				
25	坂下	伊藤	第4セット	上林	小田島	20
	( )	( 高橋 )		( )	( )	
	村山	藤原		内藤	竹沢	
( )	( )	( )	( )	( )	( )	
本澤	吉田	中道	神戸	( )	( 大竹 )	
( )	( )	( )	( )	( )	( )	
リベロ： 土岐		リベロ： 大吉				
	( )	( )	第5セット	( )	( )	
( )	( )	( )		( )	( )	
( )	( )	( )		( )	( )	
リベロ：		リベロ：				

<監督コメント>	

### <要約レポート>

3冠を狙う駿台学園とノーシードから強豪を撃破して勝ち上がってきた東亜学園の東京同士の対戦となった決勝戦。

第1セット、駿台藤原、村山のブロックが立て続けに決まりリードする。東亜は内藤、竹沢らのスパイクを中心に点数を詰め、神戸のスパイクで逆転する。その後は東亜中道の緩急をつけた攻撃で勢いに乗る。駿台も坂下のスパイク、吉田のブロックなどで応戦するが、東亜・神戸のスパイクで点数を重ね第1セットを先取する。

第2セット、駿台はメンバーはそのままに、ポジションを変えて挑む。東亜は小田島のスパイク、神戸のサービスエースで先行する。しかしこのセット序盤から途中出場をしていた小出がスパイクを決め流れが変わる。リベロ・土岐の好レシーブを藤原が得点に繋げ応戦。同点に追いつくと吉田、藤原の攻撃で2セット目を取り返す。

第3セット、東亜・中道、駿台・坂下両キャプテンの打ち合いで試合が進み、互いに一步も譲らない展開。その後、駿台学園は本澤の多彩なトス回しで連続得点、東亜学園は1点1点積み重ねる形で試合が進む。最後は伊藤、坂下、村山の攻撃で3セット目も連取した。

第4セット、駿台は吉田、坂下のスパイクで4-0と勢いに乗る。対する東亜はリベロ大吉のレシーブを攻撃につなげ駿台の攻撃をしのぐ。しかし、駿台・坂下のブロックを利用したスパイクで追従を許さず、最後は村山のブロックで春の高校バレー初優勝を手にした。

作成者：飯田 一明